

温暖化防止プロジェクト企画シート
グループ 自然エネルギーを普及させる仕組みづくり

プロジェクト名	太陽とあそぼう 川口ソーラスクール
目的	小学校に太陽光パネルを設置する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境教育 ・ 発電した電力を電力会社に売る ドイツ 80円 (高値!) ・ 社会・職業教育 (企業が何をやっているのかを知る)
期待できる成果	<p>広報による企業PR、小学生への意識付け、行政を元気にさせる。</p>

時期	2008年4月
場所・範囲	川口市内47校の中の1校。シンポジウム(応募、面接)、説明会。

だれと(協力者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京電力(グリーン電力基金を利用して)、川口市、(埼玉県、) ・ 太陽光発電のメーカー ・ 電気関係の企業 ・ 施工する会社
----------	---

役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政担当(若手へのアプローチ) ・ 学校へのアプローチ ・ 電力会社へのアプローチ
------	---

実施までのスケジュール

- 実施団体を作る
- 調査
- 行政・学校・電力会社へアプローチ
- 学校選定
- 事前調査
- 環境教育に熱心な学校を選ぶが、学校規模とどの位の大きさのものがよいか どのくらいの電力量があるのか。
- 実施後の展開
- ・ 広報活動(メリット)
- ・ 学校数を増やす。

その他

温暖化防止プロジェクト企画シート
グループ 自然エネルギーを普及させる仕組みづくり

プロジェクト名 さびれた商店街にもっと光を
目的 市民共同発電所（太陽光）、川口だからこそできる仕組みをつくり、設置
内容 エコライフデーに参加してもらった人たちに、太陽光発電の仕組みを理解する（皆で）。（地域通貨と関連させる。）
期待できる成果 共造共用で街が活性する。

時期 1年半後を目標に、3年後完成。
場所・範囲 商店街

だれと（協力者） 商店街の人たち、ライオンズ、ロータリー、商工会、町会、吉永さゆりさん シャープ（例えば）、学校（商店街近くの）、グリーン電力基金

役割分担

実施までのスケジュール

- ・ 勉強会の開催
- ・ 町会の総会へ参加依頼・出席
- ・ 資金調達

事前調査

- ・ 協力者を探す（商店街、資金提供者...）
- ・ エコライフデーに参加してもらう
（ライオンズ、ロータリー、川口商工会）
- ・ コスト検討、メーカーとの協働、補助金の額（ 万円）
- ・ 参加者が参加したことによって、呼びかけていく仕組みを考える必要あり。
- ・ キュポラ地域通貨のチケット化により再生する。

実施後の展開

- ・ 3年後に1件（2kw）
- ・ 市、NPOを中心にさびれた商店街1箇所を選択。
- ・ 太陽光発電の場所を選定。

その他

- ・ 吉永さゆりさんに協力を願う

温暖化防止プロジェクト企画シート

グループ エコライフを継続させる仕組みづくり

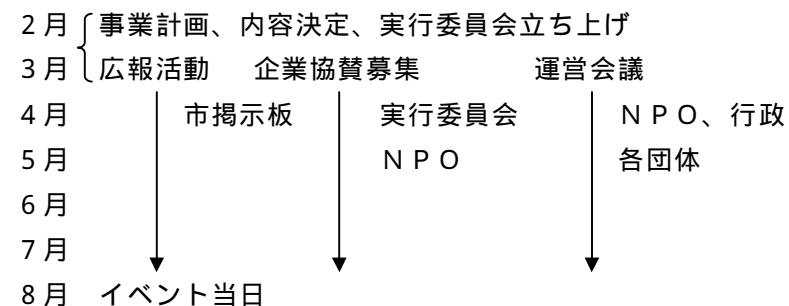
プロジェクト名	川口総市民環境会議化計画
目的	エコライフの大切さを市民に知ってもらうため
内容	行政～緑のカーテン事業（環境フェスタ in キュポラ） 企業～環境に優しい製品・サービスの宣伝 市民～出前授業などで勉強したことの発表報告
期待できる成果	エコライフデー・キャンドルナイトへの参加者の増加。 温暖化問題をより知ってもらう。

時期	8月中旬
場所・範囲	キュポラ広場

だれと（協力者）	行政：環境総務課さん 企業：ウインド・カー埼玉、東京ガス、 川口青年会議所メンバー企業など、その他川口市内企業 市民：NPO川口市民環境会議、その他NPO関係。
----------	---

役割分担	行政～広報活動、会場と人の提供 企業～協賛金を出す。 市民～協賛金や人材などを出してもらう広報やお願い。 全体～実行委員会を作り、具体的な活動を進める。
------	---

実施までのスケジュール



事前調査

環境事業

実行委員会の立ち上げ（参加者見込み）

他地域での緑のカーテン事業・環境事業実施

協賛企業見込みリストアップ、参加団体

予算

支出	会場費	0
	広告宣伝費	400,000.
	イベント設営費	550,000.
	予備費	100,000.
	(計)	(1,050,000.)
収入	企業協賛	10,000 × 50 = 500,000.
	出展料	30,000 × 16 = 450,000.
	助成金	0.
	環境グッズ販売	100,000.
	(計)	(1,050,000.)

(次葉へ)

実施後の展開

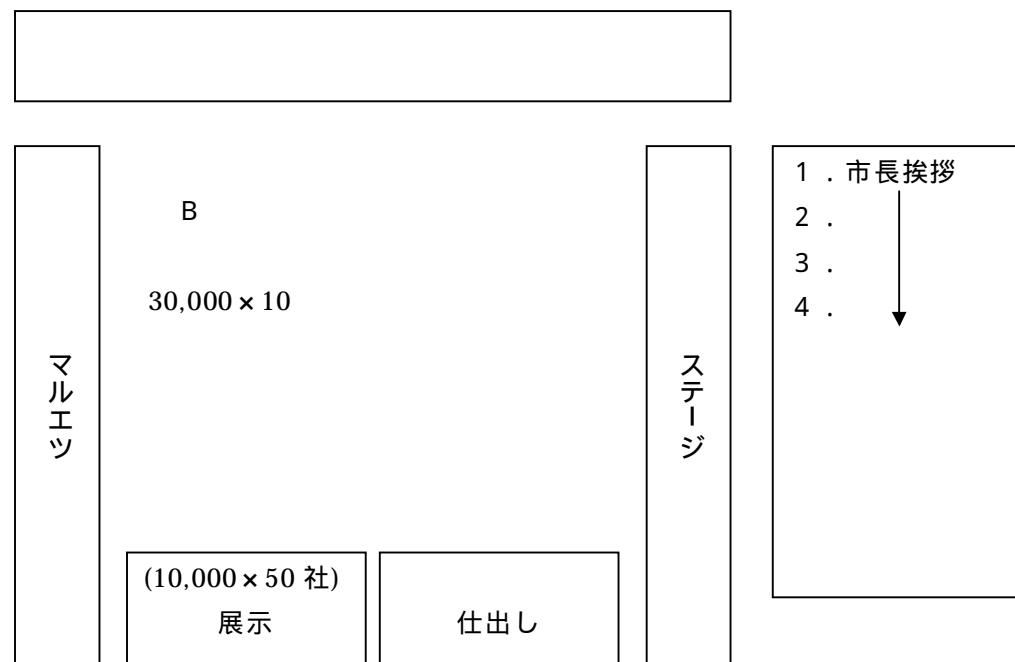
第2回開催に向けての会議（反省点）

データ整理

市の予算化

その他

会場設営（案）



温暖化防止プロジェクト企画シート

グループ エコライフを継続させる仕組みづくり

プロジェクト名 食の大運動会
目的 毎日の生活に欠かせない“食”から、地球温暖化を考える。
内容 三世代がチームを組んで買い物をして、料理を作り、(できるだけ丸ごと)食べてごみを減らし、CO ₂ が出ない食を作り(しかもおいしい)ことを競う。 日本食を食べることを勧めるため米を食べることを必須とする。
期待できる成果 身近な食を通じ、温暖化防止が身近なものとなる。

時期 夏休みの大イベント
場所・範囲 学校、川口の商店街、川口の町全体を利用する。

だれと(協力者) ・ 農協 ・ 農家 ・ 商店街 ・ スーパー(買い物) ・ 栄養士(メニューについて) ・ 東京電力(調理方法について) ・ 東京ガス(調理方法について)

役割分担 ・ 企画を作る、メイン管理者 ・ 食材提供者・料理場所を探す・エネルギー供給者・CO ₂ 排出テーブルを作る ・ 表彰式 (賞品を集める、市長の参加)

実施までのスケジュール

- ・ 実行委員会を作る(協力者、市の後援、当企画者)
- ・ スポンサー募集(省エネ家電の提供)
- ・ 予算
- ・ 募集(事前募集)
- ・ テレビ局とのタイアップ交渉(レースの進行を中継していく)

事前調査

採点基準、換算表を作る。

ごみ処理から出るCO₂を計算。

食品マイレージを計算。

} 換算シートの作成

川口の農産物、農家の調査を協力依頼。

メニューの作成(カロリーベースで同じメニューを考え、なべ物、カレー、一汁一菜)

実施後の展開

- ・ 表彰(市長など)
- ・ 大賞(アイデア賞など)

その他

温暖化防止プロジェクト企画シート

グループ 持続可能な交通システムを構築するための仕組みづくり

プロジェクト名 車のない日をつくり隊
目的 カーフリーデーの実現
内容 ・ カーフリーデージャパンに登録 ・ 行政、事業者、市民（町会、自治体、NPO）との協働 ・ 市民団体から行政に提案し、協議会をつくる。
期待できる成果 車の使い方を考え直す市民が増えてくる。 徒歩、自転車、バス利用が増える。地域の活性化。

時期 2008年9月22日（試験）
場所・範囲 川口市内中心部

だれと（協力者） ・ 市役所 ・ 警察 ・ 事業者 ・ 市民団体 ・ 国土交通省 ・ 町会 ・ 自治会

役割分担 Iさん：カーフリーデージャパンの現状調べ（コスト） Sさん：協議会の作り方、実施時の問題点の整理、調査 Kさん：パートナーの調査 Nさん：効果測定
--

実施までのスケジュール

07.08 市民団体から行政に提案

08.04 協議会づくり

地区説明会

08.09 予行/他地区視察

09.09 実施

事前調査

・ 国内の事例調査

・ アンケート調査

実施後の展開

・ 結果調査

・ カーフリーデー拡大（場所、範囲、時期）

・ 交通システム見直し

歩道・自転車道の確保、廃食油無料バス

その他

温暖化防止プロジェクト企画シート

グループ 持続可能な交通システムを構築するための仕組みづくり

プロジェクト名 駅までどうする
目 的 車を減らすことを目的として、カーフリーデー実行委員会を作るためのコア・メンバーによる準備会設置
内 容 推進協議会の設置
期待できる成果 カーフリーデー

時 期
場所・範囲

だれと（協力者） ・ 行政 ・ 警察 ・ 企業 ・ 市民 ・ 市民団体 ・

役割分担 ・ 市民へのPR

実施までのスケジュール

推進協議会の設置

市民主体の実施を目的とするメンバー選定

協議会より実行委員会の選定

事前調査

他地域の事例調査

実施後の展開

その他